

2024 年 12 月 17 日

—認知症家族をケアする介護者の心の負担軽減を—

認知症の人と暮らしに伴走する新たなプロジェクト

～家族に笑顔を～

12/17 (火) クラウドファンディング開始

❖ 概要

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 老年看護学研究室は、認知症の家族をケアする介護者の「孤立」と「感情の負担」に寄り添い、新しい支援の形を創出するためのクラウドファンディングを12/17 (火) より開始しました。認知症患者を支える家族介護者に対して、オンラインによる個別支援プログラムの提供や、家族介護者が相互に悩みを共有したり専門家からのアドバイスを受けられるオンラインコミュニティの構築を行うことで、自分や家族が認知症になった時でも「一人じゃない」と思える、安心できる社会を皆さんと作っていきたいと考えています。

ぜひ、本クラウドファンディングの積極的なご周知とご取材をお願い致します。

❖ クラウドファンディング実施の背景

家族が認知症になったとき、「できるだけ家で一緒に過ごしたい」と多くの人が思います。しかし、介護が始まると精神的な負担が増し、感情のコントロールが難しくなって本人や周囲との人間関係に悪影響を及ぼすことがあります。孤立感や施設に預けることへの罪悪感に悩むことも増え、プライベートな時間を持てず、仕事を辞めざるを得ない介護者もいるのが現実です。

現在の介護保険制度では、介護者の感情面のケアはサポートされていません。そこで私たちは自分たちの手でサービスを作ることになりました。

私たちは、約2年にわたり180名以上の家族介護者へのインタビューを行い、家族介護者の感情面での負担などについて研究してきました。この研究を基に、介護者の心に個別で寄り添うためのオンライン支援プログラムを専門職と連携して開発しました。そのプログラムを検証するために、仲間を募り、多職種や実践者と共に新しい支援の形を社会に実現するための挑戦として、あえてクラウドファンディングを選びました。

介護は社会全体で支えることが必要です。多くの方に介護者が抱える心の負担を知ってもらい、自分や家族が認知症になった時でも「一人じゃない」と思える、安心できる社会を皆さんと作っていきたいという思いから、クラウドファンディングという形をとることになりました。

今回のクラウドファンディングは、開発した支援プログラムを実現するために行います。認知症者を支える家族を支援することが、超高齢社会を進む日本にとって重要だと考えています。私たちはこの成



Press Release

果を将来、診療報酬や介護保険に組み込み、未来の介護を変えることを目指します。ぜひご賛同いただき、共に支える一歩を踏み出してください。

❖ クラウドファンディング詳細

【タイトル】「認知症の人との暮らしに伴走する新たなプロジェクト～家族に笑顔を～」

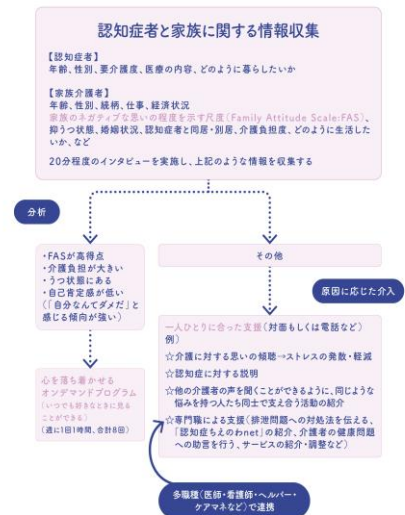
【日 時】 2024 年 12 月 17 日（火）～ 2025 年 2 月 14 日（金）

【サイト URL】 <https://readyfor.jp/projects/kazoku-ouen>

【プロジェクトの内容】

家族介護者の心の負担を減らし、感情労働を軽減するための対面・オンラインのサポートを提供

- 多職種が連携して介護者の状況をアセスメントし、課題に合わせた支援を立案
 - ・感情面の負担が大きい介護者に心理ケアプログラム提供
 - ・上記以外の介護者には個別の状況に合わせ、傾聴やピアサポート活動の紹介などを提供
- 忙しい日々の中でもアクセス可能なオンラインプログラムを提供
- 介護者同士が悩みを共有し、支え合える安全な SNS コミュニティの提供（「みまもりあいプロジェクト」(※) と協働）



【目標金額】

第一目標金額：250 万円…オンラインプログラムの提供

第二目標金額：300 万円…具体的なアドバイスを受けられる WEB サイト・コミュニティの構築

【クラウドファンディング実施者のメッセージ】

山川みやえ・大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 准教授



「これまで、認知症の方を支える家族のみなさんや、その支援に携わるケアマネージャー、ヘルパー、医師、訪問看護師の方々とチームを組み、延べ 180 名以上のご家族とそのケアスタッフの声を聞き、その想いを支援プログラムとして形にしてきました。このプログラムが家族の負担を軽減し、誰もが安心して暮らせる社会の一歩となることを願っています。この取り組みを広げるためには、医療介護制度の中に今回のプログラムを組み込む必要があります。そのためにエビデンスを創出するとともに、一緒に動いてくださる「応援団」の仲間が必要です。このクラウドファンディングは、そんな仲間づくりの第一歩でもあります。結果に関わらず、私たちはこの取り組みを止めません。みなさまの支援が、未来を変える力になります。どうぞご協力をよろしくお願いいたします」

補足：※「みまもりあいプロジェクト」(<https://mimamoriai.net/>)

一般社団法人セーフティネットリンケージが開発した「地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）」を活用し、地域の互助機能を促進するプロジェクト。同アプリは国内の自治体、大学、医療機関、NPO

Press Release

などに個人認証を必要としない SNS プラットフォームを提供しており、地域の防犯、見守り、街おこし、多世代交流など幅広い分野で活用されている。大阪大学医学系研究科老年看護研究室が協同し、大阪大学がある吹田市でも認知症者の見守りにみまもりあいアプリが使用されている。